

あらいざわ通信

わが市民の森をより美しく

恵まれた自然環境と植物相

今年度のフォローアップ研修が、3月11日に開催されました。定例作業日をこれに当てたため、参加者は多数のうえ活動中の記憶が頼りとあって、今回の主役は愛護会員。2組に分かれてテーブルに広げた白地図を囲み、そこに植物の所在を書き込んでいきます。講師の北川淑子先生の助言と指導を受けながら活発な話し合いで時間を追うごとに盛り上がります。

予定の時間になり、それぞれの組の地図を張り出して講評を受けました。荒井沢市民の森は3列の丘陵とその間の谷から成り、それが東西に走っています。水田のある谷には水が流れ、それを南向きと北向きの斜面が挟んでいるので、豊かな植物相を生むことになると北川先生のお話。横浜市内でも珍しい絶滅寸前の植物がここでは見られるとのこと。

こういう場所を委託されて管理するわが愛護会の責任を感じます。今年は、花だけに止まらず、花が終わったあとの葉にも目を向ける、草刈りにはきめ細かい配慮をするなど、作業の質を高める努力をしたいと思います。



第88号 2017年3月29日
発行： 荒井沢市民の森愛護会
上荒井沢水辺愛護会
横浜市栄区田谷町 888
発行責任者： 石川 嘉一郎

定期総会は5月20日(土)に
開催します

保安林を間伐して明るい林に

市民の森の面積のうち、かなりの割合を占める保安林は、樹木の密生が目だってきたので、横浜市が間伐を実施することになりました。保安林は県の管理下にあるため両者間の合意が必要になります。12月5日、県農政事務所と市南部緑地事務所それに地権者(石川会長)が現地で打合せを行い、愛護会も立ち合いました。

特に炭焼き広場南側斜面と急斜面(長い階沿い)の密集度が高く、市側による調査の結果、針葉樹と広葉樹合わせて300本ほどを伐採したいというのが市の意向です。県側の規定では、伐採が許されるのは単位面積あたり2割が原則ですが、来園者の安全、地権者の要望、景観を考慮しての緩和措置も可能である由です。

打合せの結果、12月から年明けにかけて市・県の間の手続きを進め、2月から工事を開始しました。伐採の対象になるのは、細い樹、弱っている樹などが主体です。工事中、愛護会の活動への影響も事故もなく、3月末近くにはほぼ工事は完了しました。下の墓苑沿いの道路、そして炭焼き広場から見る林は間伐されてすっかり明るくなりました。やがて林床に草が生え、そこに繁殖する虫を食べに鳥が集まって、賑やかな林になることが期待されます。

田起こしに助っ人

田起こしは寒い季節の辛い作業です。凍るような冷たい泥田に入っただけの作業を、まず2月18日に会員が入って半分を済ませ、次週の2月25日には横浜市みどりアップが募集したボランティア2名と市の職員2名が加わって残りの半分以上を起こして完了、4月の代掻きを待ちます。

いよいよ今年の稲作が始まりました。今年はどんな年になるか、春を目前にして期待がふくらみます。



新しくなった保安林の風景



間伐の済んだ林内各所にできた粗朶柵

土砂の流出を防止する粗朶柵が随所にできました。虫や小動物の生息を助ける設備にもなります。



斜め上に伸びて、枝が電線にからんでいた木も伐られて、辺りが明るくなりました。

下の池の整備に注力



この冬は下の池の整備に力をそそぎました。1月は例年通りのスゲ刈りと刈り跡の片づけをしたあと、2月に入って手前の小さい池の泥上げと拡張を2回にわたって実施、かつての池の姿を取り戻しました。今年はカワセミをはじめとする鳥たちが飛来することが期待されます。



今後の活動予定

4月からの作業開始時間が9時30分から

- 4月1日(土)当番：茨木
散策路と広場の清掃とパトロール
苗床づくり
草刈り(当日対応)
- 4月8日(土)当番：本間
散策路と広場の清掃とパトロール
防鳥ネット張り
炭焼きと炭材づくり
- 4月15日(土)当番：草本
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(極楽広場・倉庫周辺)
種籾蒔きと防寒ビニール張り
- 4月22日(土)当番：坂本
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(炭焼き広場)
草刈り(極楽広場・蛙池)午後
- 5月6日(土)当番：佐藤
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(三日月池周辺)
草刈り(水田畦・池周辺)午後
- 5月13日(土)当番：茨木
散策路と広場の清掃とパトロール
代掻き(桂台小・会員用水田)
水取り込口の整備(水田全域)
- 5月20日(土)当番：本間
定期総会
- 5月27日(土)当番：草本
散策路と広場の清掃とパトロール
代掻き(公田小用水田)
草刈り(水田畦と池周辺)

6月上旬に延べ2日ほど田植えが入ります。
予定が決まり次第お知らせしますのでご協力をお願いします。

- 6月3日(土)当番：坂本
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(蛙池～階段下)
炭出し・炭材詰め
- 6月10日(土)当番：佐藤
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(ホオノキ地区～展望台散策路)
草刈り(当日対応)午後
- 6月17日(土)当番：茨木
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(炭焼き広場・三日月池)
炭焼き・炭材づくり
- 6月24日(土)当番：本間
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(当日対応)
草刈り(当日対応)午後
- 7月1日(土)当番：草本
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(当日対応)
- 7月8日(土)当番：坂本
散策路と広場の清掃とパトロール
下草刈り(水辺上流)
- 7月15日(土)当番：佐藤
散策路と広場の清掃とパトロール
下草刈り(水辺下流)
- 7月22日(土)当番：茨木
散策路と広場の清掃とパトロール
草取り(水田3枚分)
草刈り(当日対応)午後

定例作業と公式行事の記録

(平成28年12月～29年3月)

12月1日(木)参加者22名
日帰り研修旅行 葦崎大村美術館ほか

12月3日(土)参加者18名
散策路と広場の清掃とパトロール
下草刈り(ホオノキ地区)
水路の整備(スゲの湿地)
畑:玉葱の植付け

12月10日(土)参加者14名
散策路と広場の清掃とパトロール
下草刈り(ホオノキ地区)
畑:ヤーコン・里芋の収穫

12月17日(土)参加者14名
散策路と広場の清掃とパトロール
草刈り(炭焼き広場・三日月池周辺)
落ち葉集め(炭焼き広場)

12月24日(土)参加者19名
散策路と広場の清掃とパトロール
落ち葉集めと片づけ(極楽広場)

1月7日(土)参加者20名
散策路と広場の清掃とパトロール
会員の健康と作業の安全を祈願

1月14日(土)参加者22名
散策路と広場の清掃とパトロール
炭出し・炭材詰め
落ち葉集め(炭焼き広場北側斜面)

1月21日(土)参加者19名
散策路と広場の清掃とパトロール
スゲ刈り(スゲの湿地)
畑:里芋植付け準備の耕耘

1月28日(土)参加者16名
散策路と広場の清掃とパトロール
スゲ刈り(スゲの湿地)

杭の取替え(8本)・ロープ張替え

2月4日(土)参加者22名
散策路と広場の清掃とパトロール
谷戸田の池泥上げと排水口掘削
落ち葉集め(極楽広場川沿い周辺)

2月11日(土)参加者17名
散策路と広場の清掃とパトロール
土砂上げ(水田沿い池と水路)

2月18日(土)参加者19名
散策路と広場の清掃とパトロール
田起こし(桂台小・会員用水田と苗床)
畦づくり(公田小用水田)

2月25日(土)参加者22名
散策路と広場の清掃とパトロール
田起こし(公田小用水田)
みどりアップ派遣のボランティア2名と
市職員2名が応援参加
畑:じゃが芋植付け準備の耕耘

3月4日(土)参加者17名
散策路と広場の清掃とパトロール
土砂上げ(谷戸田の池)

3月11日(土)参加者20名
研修会「荒井沢市民の森に咲く花」
講師:北川淑子氏
みどりアップ推進課、南部公園緑地事務所
ほか計12名出席

3月18日(土)参加者15名
散策路と広場の清掃とパトロール
畦つくりと畦塗り(水田全域)
水辺の倒木片づけ

3月25日(土)参加者19名
散策路と広場の清掃とパトロール
苗床づくり
水田排水口整備

美術品鑑賞と温泉

日帰り研修旅行



12月1日、今年も出発時は雨。一昨年は雪模様でした。8時過ぎ、地区センター前を出発。参加者は家族参加を含めて25名。目的地は蕪崎と、少々遠いと思われましたが、新しい道路の開通で、交通の便が大幅に改善され、交通事情の良さも加わって、どんどん先に進みます。目的地は前年ノーベル・医学生理学賞を受賞された大村智博士が作られた施設です。高速道路を下りると、蕪崎の市街地を通らずに直接その施設に向かいます。

この地は大村博士の故郷で、研究に没頭する生活に若干余裕ができた45歳ごろから、ここで暮らすご両親のもとに帰る機会が増え、周辺を散歩などしている時に思いついたのが、温泉を掘ってお世話になった地元の方々にご恩返しをすることだったそうです。幸い、良質の湯が湧いたので、廉価の温泉を楽しんでもらうことができたとのこと。残念なのは、ご両親にこの温泉に浸かってもらえなかったことだと。

一方、長年趣味で集め、いずれはどこかに寄付をしようと考えていた絵画等の美術品があり、隣地を取得して美術館を建ててこれらを収蔵し、蕪崎市に寄付をしたのが「蕪崎大村美術館」です。ここには主として女流画家の作品が展示されています。

さらに、温泉や美術館に来られた人たちからの「どこか食事ができる所を」という希望を受けて「そば処上小路」を設けるといった具合に、博士のサービス精神は遺憾なく発揮されてきました。

大村博士は長年の研究生活の中で、「思いついたことを実行することの難しさ」を実感し、それを乗り越えてきた結果がノーベル賞受賞という結果につながったと述懐されています。

そのような思いで数々の絵画を鑑賞し、旨い酒とそばを堪能して、温泉に入った人は少なかったようですが、代わりに座敷で昼寝までさせてもらってから帰途につき、6時ごろには出発地点に戻って解散しました。



久しぶりのツララ

崖の上の藪が茂ってきたので、ツララが出来ました。まだ細いものですが、今後が期待されます。



炭焼き広場と三日月広場の新しくなったテーブルとベンチです

新入会員紹介

今年度は4人の新入会員を迎えました。それぞれ熱心に活動に参加されています。心から歓迎いたします。

4人のみなさんにお尋ねしました。

入会の動機
作業に参加して感じたこと
得意分野
その他自由に

佐藤千代さん

用事で市民の森に来た時に、皆さんに声をかけていただき、入会を決めました。慣れない仕事で少し疲れますが、楽しくやっています。



神出生生さん（写真中央）

元々アウトドア・自然が好きで、里山を守るいろいろな作業の習得に興味があります。ベテランの皆さんの技術が優れているのと、タフさに感心しています。素人ですが、ガーデニングや樹木の剪定をやっています。長年の愛護会の活動の蓄積が素晴らしく、少しずつでも学んで、技術を習得していきます。

中島清さん（写真左端）

荒井沢の風景が好きで、ここの自然を守る活動のことを神出さんから聞いて、高齢ですが体力の維持と増進のため入会させていただきました。楽しく参加させていただいています。学校を卒業するまで、東北の農業・林業の家で過ごしました。定年後7年間、知人の田畑に通って手伝って来たので、多少はできます。家庭の事情があり、毎回の参加は無理かと思いますが、お許しください。

瀧川昌宏さん（写真右端）

友人から勧められて皆さん楽しそうにやっている。自然が大好きなので、楽しくやりたい。外部にもっと知られて、大きな輪(和)を作っていけたらと思います。

市民の森ふれあいノートから

28年11月7日 今日4人のお爺さんがヨタヨタと山へ登って来ました。とても里山の気分を満喫して来ました。

29年1月9日 近所の者です。夫婦で散策に来ました。とてもよい谷戸ですね。子供が産まれたら遊びにきたいと思います。

注意!!

展望台に登る最後の階段手前のベンチ横に3株生えています。ウラシマソウ(マムシソウかもしれません)と思われると思います。見守っていきたいと思います。特に草刈りのときに注意を。



お知らせ

地形の変化等により、実態にそぐわなくなった当市民の森内の地名の呼称を修正し統一するために、3月25日の役員会で検討、以下のように改めました。

- ・奥の池（従来の「上の池」）
- ・ニリンソウ群生地（従来の「中の池」）
- ・スゲの湿地（従来の「下の池」）
- ・谷戸田の池（下の池の中に掘った池）
古くから残っている呼び名です。
- ・ヨシの湿地（水田の上の「湿地帯」）